

「家庭のルールを作ってみませんか？」

～高松青年会議所教育実践プログラム～を開催しました



平成24年6月29日、(社)高松青年会議所の兼間 達郎さんを講師に迎え、「家庭のルールを作ってみませんか?～高松青年会議所教育実践プログラム～」を開催しました。

この講座は、高松青年会議所教育実践事業の1つで「家訓づくりプロジェクト」に基づくものです。

- 【モジュールⅠ】何故、家訓が必要なの?
- 【モジュールⅡ】自分の価値観って?
- 【モジュールⅢ】価値観を探ってみましょう
- 【モジュールⅣ】家訓づくりに挑戦

家訓とは「我が家のルール」のことで、家訓づくりは子どもたちに道徳心や世間の常識などを教える手法の一つとして有効だと考えられているそうです。また、「家族間での約束ができる」「子どもの姿勢が変わる」「親が親であることの自覚が持てる」など、家訓づくりのよさもあるようです。

講座では、いくつかのワークショップがありました。その1つを紹介しましょう。「子どもの時、親に何を言われましたか?何を説教されましたか?そして何を諭されましたか?親に言われた事柄を書いてみてください!」という問いかけでした。受講生はいろいろなことを思い出しながら、ポストイットに両親から言われたこと(メッセージ)を書き出しました。その後、グループで意見交換をしながら気に入った親のせりふを選んで発表し合いました。このような作業を通して、「伝える」ことを意識した時、自分自身の本当の「価値観」に気づけるのだそうです。

最後はいよいよ家訓づくりです。「あいさつをする」「人に迷惑をかけない」「人に感謝する」など、みなさん思い思いの家訓を作っていました。その家訓は、これから子どもたちがこんな風に育ってほしいと願う親の強い気持ちがかもった「我が家のルール」でした。

